

◆「痛み」の改善から健康寿命延伸を目的としたヘルスケアサービス

医療法人 富永ペインクリニックを主体とした「まつやま健康寿命延伸コンソーシアム」では、「痛み」緩和を目指すサービスをワンストップで提供します。痛み緩和をチームで集学的に取組み、公的保険サービスと公的保険外サービスの組み合わせにより、診療所・鍼灸院・フィットネスクラブの協力体制を構築し、経済産業省の支援による実証事業（健康寿命延伸産業創出推進事業）を行いました。今後は日本全国で汎用性のあるモデル構築を目指しています。

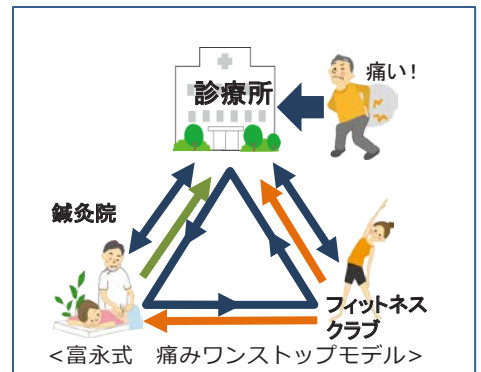
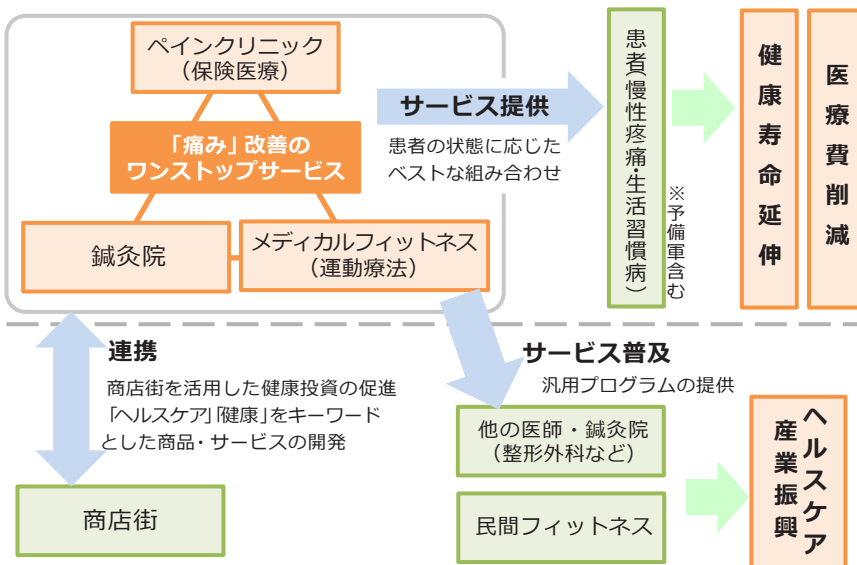
痛みを緩和するための処置として、スポーツ医学に基づいた運動で健康を作る「トレーニング」と、東洋医学と西洋医学が融合した新しい「鍼灸治療」を取り入れた新しいプログラムを開発しました。これまで、痛いところがあると、自分の判断で病院へ行ったり、鍼灸治療院へ行ったり、スポーツクラブに通ったりしていました。これを、ひとりひとりの痛みや体力、合併症などにあわせ、医師がオーダーメイドで処方をする中に「マシーントレーニング」と「鍼灸」を組み入れたものです。痛み悩む人はどの機関を受診しても最適なプログラムを効率よく受けることができるようになり、健康増進に役立つほか、医療費削減にも繋がる期待があります。



富永 喜代
医療法人 富永ペインクリニック 理事長
〒790-0863 愛媛県松山市比花町7-33
TEL: 089-921-7711 / FAX: 089-921-7716
URL: <http://www.tominaga-clinic.net/>

三位一体プロジェクトの全体図

- 目的：保険診療と保険外サービスを連携させたワンストップサービスの展開・普及、それによる健康寿命延伸、医療費削減、ヘルスケア産業振興
- 内容：①診療所・鍼灸・フィットネスクラブが連携した医療費適正化サービスの創出・普及
②健康寿命延伸プログラムが簡単に分かる！運動指南書アプリの開発
③健康産業創出で商店街を活性化させる研究会の発足



◆三位一体プロジェクトを通じた医療費減少や運動指南アプリ開発、地域での研究会発足

①医療費適正化モデルの創出：1人月平均 6,096円の医療費が減少（18.3%削減）
＜コンソーシアム参加前（'14.9.30まで）と参加後（'14.10.1以降）の医療費の推移＞

検討項目	実施前月平均	実施後月平均	1人月平均増減	増減割合
診療・検査料金	18,010	13,048	△4,962	△27.6%
調剤薬局費用	15,364	14,230	△1,134	△7.4%
医療費	33,374	27,278	△6,096	△18.3%
通院回数	2.3回	2.1回	△0.2回	(対人)△56%

②健康産業創出で商店街を活性化させる研究会の発足

松山市、道後温泉観光協会、松山市大街道商店街、医業（診療所）ら地域のキーパーソンが、地域でヘルスケアビジネス創出を目指す研究会が発足しました。

③運動指南書アプリ「けんぞうくん」の開発

年齢、疾患、性別、処方箋による最適な効果を点数化するなどのデータ分析を行い、痛みワンストップシステムによる、より簡単に汎用性のあるプログラムを開発しました。地域の健康増進の役目を担う保健師や地方公共団体職員などが操作すれば、簡単に運動指導内容や負荷、実践回数、実践時間の目安が分かり、地域の健康寿命延伸に貢献します。

「けんぞうくん」を導入し、運動指導士が指導した結果、2ヶ月で筋力が向上し、オメガウェーブ測定ではストレス指数が改善し、心肺の予備適応力が向上しています（日本麻酔科学会第62回学術集会発表）。

◆今後の展開

まつやま健康寿命延伸コンソーシアムから全国に普及できるような汎用プログラムの開発・提供に取り組むとともに、商店街等と連携して発足した研究会にて、地域のヘルスケア課題の把握・ビジネスの発掘と育成に向け活動する予定です。